

夏の処方せん



学年主任 菱池 美保

1 年生 1 学期が早くも終わります。教科書風に言えば第 1 章第 1 節です。細かいことはいろいろありますが、ここまでなんとか来られたことに感謝し、47 回生として良い方向に向かっていると信じています。何事においてもスタートを切ってから軌道に乗るまでが難しいものです。この 1 学期、とりあえずはみなさんに新しい環境に慣れてもらうことを第一に考えてきました。それと並行して、完全に慣れてしまうまでに学習習慣をつけてもらう、これが大きな目標でした。新鮮さと緊張感はスタート時点での勢いをつけます。様子がわからない分、一生懸命に取り組みます。しかし、新鮮さは時間とともに色褪せ、緊張感のすっかりなくなった平凡な日常に変わっていきます。悪いことではありません。むしろそういう日が早く来るのを望んでいたともいえます。学校が日常生活の一部となり、勉強が当たり前になる。そうすれば淡々と過ぎる毎日の中で今度は自分の立ち位置が鮮明になり、何をすべきかがはっきりと見えてくるはずです。

さあ、これからです。夏休みをどう過ごしますか。強制されない自由な時間の過ごし方がこれから先の明暗を分けます。時間は十分にあるはずです。「夏休みをどう過ごすか」は、人生の大問題というには少し大袈裟すぎますが、後から取り戻すことのできない時間であることを思うと、十分熟考するテーマではあります。

「夏休み」の持つきらきらした豪華な響きに見合った充実感のある計画をどう立てるか。出された課題をこなし、部活動に励む。まあ、当然でしょう。ですが同時に、高校 1 年生の夏休みは自由の許される贅沢な時間です。趣味に没頭し（スマホ以外）、本を読み、じっくりとご両親と会話をする。そんな時間をとってほしいと思います。2 学期にはいよいよ文理を決めていかななくてはなりません。普段からいろいろなことに興味・関心を持ち社会への視野を広げておくことで、選択の幅は広がり、納得のいく進路選択につながります。無言のスマホと無言のあなた、指を動かすだけでは何時間向き合っても得るものではありません。



毎年、梅雨明けとともに訪れる夏休み、有意義に過ごせるようにという自然の計らいでしょう。9 月には心身ともにリフレッシュし元気な姿を見せてください。

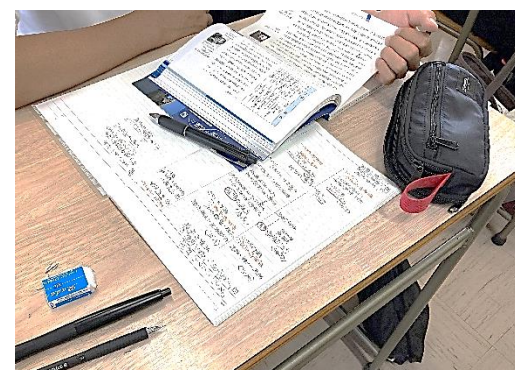
<今後の予定>

7 月 21 日(金)	前期補習(28 日まで)	9 月 1 日(金)	始業式・大掃除・課題考査
28 日(金)	油引き前清掃		(国語 80 分 数学 100 分)
31 日(月)	1 日(火) 5 組 牛窓海洋研修	4 日(月)	課題考査(英語 80 分)
8 月 4 日(金)	コース体験入学		3 限より授業 放課後補習なし
8 月 10 日(木)	学校閉庁日(15 日まで)	15 日(金)	挨拶運動 1—5
8 月 17 日(木)	後期補習(28 日まで)		
28 日(月)	スタディサポート(国数英)		

「前向きな取り組み」

副主任(5 組担任) 清水 弘也

1 学期を振り返ってどんな感想を持っているでしょうか？皆さんと 1 学期の間を過ごして気になったことが 2 点あります。まず、第一に残念ながら授業を大切に取り組めていない人がいます。予習が出来ていない人や、授業中に話を聞いていない人が、少なからず見受けられます。先日のベネッセの講演会でもありましたが、1 日 6 時間や 7 時間の授業の時間を大切に出来ない人に実力は身に付きません。次に、課題



への取り組み方です。この 3 カ月で課題の取り組み方ですごく差がついているように感じています。課題の問題演習に主体的に取り組む、出来ない問題を出来るようになるようと、課題を活用しようとしている人がいる一方で、課題を提出するただけに（字を書く練習のような）行っている人もいます。

授業にしても、課題にしても、君たちの取り組み方次第で 2 年半後の結果に大きな影響が出てくることは間違いありません。取り組み方を変えるべき人は、今日からすぐに実行に移してください。2 学期は今よりも多くの前向きな取り組みをする人が増えていることを願っています。

「雨ニモマケズ風ニモマケズ夏ノ暑サニモマケヌ丈夫ナ体ト心ヲ！」

副担任 島本 陽子

皆さんは、ジブチ共和国という国を知っていますか？アフリカの東、エチオピアの隣に位置する小さな国です。世界で最も暑い国の 1 つで、真夏は 50℃越えなど当たり前。非公式で 71.5℃を記録したこともあると言われ、飛んでいる鳥が失神したとか、日中は蚊も飛ばないなどといったエピソードもあります。（ちなみに、ギネス認定の最高気温はアメリカ合衆国デスバレーの 56.7℃。自動車会社が新車の耐熱テストをすることで有名。）

ジブチほどではないにしても、日本の夏は気温に加えて湿度が高く、不快指数もなかなかのもの。ダラダラして終わらないためには、己を律する心の強さが必要です。

何度も集会で話があった通り、皆さんは既に受験のスタート地点に立っています。少しでも快適な場所で、“今すべきこと”＝①単語などの暗記物 ②夏課題と 1 学期の復習 ③進路研究（保護者との相談、オープンキャンパス参加など）と、“今しかできないこと”＝部活動などに積極的に取り組みなさい。

受験までの流れを把握して計画的に毎日努力することこそが、あなたの将来を切り拓く鍵になるということをお忘れずに！

貴重な 40 日間です。

※どうしてもやる気が出ない時は、場所や筆記用具を変えてみるなど気分が上がる工夫をすると good！



自発的、主体的な活動を

1組担任 岩井 裕子

4月、希望と不安を抱えながら入学してからはや4ヶ月。当時思い描いていた高校生活を送れているでしょうか。勉強、課題や部活動、その他の活動において、「明日から」「次からは」と思い続けるだけで実際には何もできていない、そんなことになってはいませんか？「なっていません！」と言って欲しいところですが、君たちの学習・課題への取り組みを見ているとできていない人が残念ながらいます。



『玉磨かざれば光なし』『素晴らしい才能や素質を持っていますが、自ら努力して錬磨しなければそれを活かすことはできない』という意味です。答えを写すだけの課題、存在しているだけの授業や部活動、それではいつまで経っても輝きを手にすることはできません。夏休み、自分自身で考え行動する時間が多くなります。勉強だけでなく、様々なことに自発的に挑戦してください。その挑戦が失敗に終わったとしても、その過程でたくさんのものを手に入れることができます。2学期始業式には少し違った輝きを放つ君たちの姿を見せてください。

「熱中しよう」

2組担任 中田祥太郎

私の好きなアーティスト Avicii の The Nights という曲に次のような歌詞が出てきます。

One day you' ll leave this world behind. So live a life you' ll remember.

(いつかお前も世を去る時がくるのさ。だから、きっと忘れられない人生を送るんだ。)



忘れられない人生…これはスケールが大きいですね。では、忘れられない「夏」ならどうでしょう？—何かに熱中することができれば、必ずや忘れられない夏になるはずです。勉強に熱中するのも結構。部活に熱中するのも結構。趣味に熱中するのも結構。47回生全員が「熱中症」になりました。さあ、もうウイルスに邪魔されることはありません。この夏は正真正銘、君たちの夏。大人になっても忘れられないような夏にしてください。「何もしなかった」なんてことだけではないように！2学期に少し成長した（そして日に焼けた？）君たちに出会えることを楽しみにしています！



Avicii - The Nights (MV)

人生は選択の連続である

3組担任 瀬戸良昭

高校生活も入学してから、早くも3か月が経とうとしています。最初は不安や手探りのなかで、送っていたと思いますが、今はどうでしょうか。進路や文理選択などのある程度の不安はあるものの、いくらか余裕が出てきたでしょうか。今年のNHKの大河ドラマは「どうする家康」です。彼は三方ヶ原の戦いのように大敗を喫することもありましたが、失敗を失敗とせず、必ず次に活かしました。彼は、武田信玄と戦う選択、決断をしたからこそ、その失敗から学び、大いに成長したのです。つまり、失敗のない人生は、成長のない人生とも言えるかもしれません。その意味で7月模試は、しっかり復習して下さい。また、選択は、日々、毎日、朝起きた時から始まっています。いろいろと決断することがあるかもしれませんが、多く決断する相手は、自分自身ではないでしょうか。怠けたい、誤魔化したい、逃げたいなど、戦う相手は自分自身であり、その時そのときの選択の連続が1日を決めるといいませんか。その今日を迎える現在も過去の決断の積み重ねであり、未来は現在の決断の積み重ねであると思います。だからこそ、日々の授業や小テストを大切にして下さい。上記の題は、シェイクスピアがハムレット王に言わせた名言です。“Life is a series of choices.” 「人生は選択の連続である」。まず、今夏には、オープン・キャンパスなどを活用して、進路に向けて後悔のない選択をして下さい。さらに、夏休みも、毎日、選択の連続です。有意義にお過ごし下さい。

力を蓄えよう

4組担任 西山 直輝

第1学年の1学期が終了しました。それが何を意味するか、それは高校3年間のスタートダッシュの期間が終わったということです。スタートダッシュと言っても、この4か月が順風満帆だったから成功というわけではありません。最初の学年通信で書きましたが、「できないこと」を「できること」にするのが大切なのであり、その過程で挫折や叱られることがあっても良いということです。今47回生に大切にしてほしいことは、この1学期で発見した自分の「できないこと」や先生方や先輩から受けた叱咤激励を振り返ることです。夏休みは力を蓄える期間です。夏季休業中の課題に目一杯取り組む、部活動に打ち込む、補習を受けて苦手を克服する、プライベートな楽しみを満喫する、様々な経験を通して力を蓄えてください。その際、自分の「できないこと」と向き合う時間もってもらいたいと思います。

正直、1学期のみなさんの取り組みは、すばらしかったです。ぐんぐん成長するためのエネルギーを感じました。ひと夏を超えてよりパワーアップした姿を見せてください。楽しみにしています。

